

令和5年度 日本大学 学生FD CHAmMiT NEWS LETTER



【テーマ】

「あなたにとって大学とは何ですか？
～日大教育の未来を語ろう～」

今年度は、コロナ禍が明け、4年ぶりに完全対面での開催となりました。

参加者の方に対面でのコミュニケーションを楽しんでほしいという思いから、CHAmMiTのテーマは、意見が出しやすくと好評だった「あなたにとって大学とは何ですか？」を昨年度に引き続き採用しました。

また、教学について話し合うというCHAmMiTの原点に戻り、副題として「日大教育の未来を語ろう」を採用しました。

【目次】

テーマ・活動内容	…… 1
セッション1について	…… 2
セッション2について	…… 3
セッション3について	…… 4
学部提案書	…… 5～8

【活動内容】

9月10日の開催に向け、学生スタッフの活動は6月から始まりました。また、8月末には追加募集のスタッフも加わり、総勢32名で事前準備を行いました。

その間、対面ミーティングは7回、オンラインミーティングは20回以上行い、参加者の方々に最大限楽しんでいただけるCHAmMiTを実現するため努力しました。

ミーティングで主に取り組んだのは、本番を想定した5～6人規模のグループでの司会進行練習です。

多くのスタッフは初参加でしたが、練習を重ねる中で参加者の話を引き出すコツを掴み、当日を迎えることができました。



CHAmMiTは
今年で11回目！

編集：
令和5年度 日本大学学生FD CHAmMiT 学生スタッフ

発行：日本大学 FD推進センター

お問い合わせ：日本大学本部学務部学務課
〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24

E-mail: adm.aca.eps@nihon-u.ac.jp

ホームページ: <http://www.nihon-u.ac.jp/fd-center/>

セッション1

大学で、何を、何のためにどのように学びたいと思いますか？

セッション1では、学部混合で「大学で学ぶ目的」を議論しました。私たちは、何を目的に大学で学ぼうと思ったのでしょうか？考えることは十人十色です。このセッションでは、他学部の学生や教職員との交流で、大学で学ぶ目的を再確認することができました。



授業環境の良かった点

- ・ 専門分野以外も多く学べる。
- ・ 1年生のうちから多様な実験ができる。
- ・ 外部から講師を招いてくれた。
- ・ 資格取得のための授業がある。
- ・ レポート課題で文章力がついた。
- ・ グループ学修で友達ができた。
- ・ 定期課題等で予定管理が上手くなった。

授業環境の改善点

- ・ 他学部との交流の機会が少ない。
- ・ Wi-Fiが教室によっては弱い。
- ・ 対面とオンラインの選択。
- ・ 就活等で休む学生への対応。
- ・ 課外授業がコロナ前と比べて減った。
- ・ 成績評価の基準が明確でない。
- ・ 外部講師等を招いた授業企画が少ない。



授業環境への要望

- ・ ICT技術の活用。
- ・ グループワーク、ワールドカフェの充実。
- ・ 就活による授業欠席の配慮を3年生から引き下げ。
- ・ 対面とオンラインのハイブリッド授業導入。
- ・ 1年間の取得単位数の制限を解除。
- ・ 重複履修の導入。
- ・ Wi-Fi設備の強化。
- ・ OB、OGとの交流の機会を増やす。
- ・ 他学部、他学科科目履修システムの充実。

セッション2

あなたが大学に望む教育は何ですか？

～あなたの理想は達成できていますか？～

セッション2では、セッション1で改めて考え直した自分自身が大学に通う目的を、実際の大学生活と比較した上で、「大学全体又は学部の改善できる問題点は何か」、「私たちの考える理想の授業はどんなものか」を同じ学部にも所属する学生と教職員間で考えました。その後それぞれの意見を付箋に記入し、発表してもらい順位付けを行いました。

【理想】

- ・ 学生主体の授業が多い。
- ・ 興味のある授業を履修できる。
- ・ 様々な人と交流できる場がある。
- ・ オンライン・オンデマンド授業が充実しており、様々な授業形態を組み合わせながら単位が取れる。
- ・ 授業への不正な出席が起こらない。

【現実】

- ・ アクティブラーニングが少ない。
- ・ 抽選科目や単位上限のため、授業を受けられないことがある。
- ・ 他学部どころか自学部間での交流の場が少ない。
- ・ ほぼ対面授業で、オンライン・オンデマンド授業を選択できない。



セッション3

あなたにとって、理想の大学とは何ですか？

～学部への提案～

セッション3では、昨年の学部提案書に基づく学生への回答書の内容を振り返った上でセッション2でグルーピングした内容から個々が思い描く理想の大学を体現するための具体的な提案を行いました。各グループにおいて「学部への提案」と「日本大学全体の未来のビジョン」の2点に分けて提案書作成をしてもらいました。

【理想の学部にするための提案】

- ・学修機会を増やすため単位上限を増やす。
- ・学生が交流イベントを開催できるような環境を整える。
- ・通信教育部で単位修得のために必要な科目修得試験の全国統一開催。
- ・4年次の履修単位に関して、下限の制限があるのをなくしてほしい。
- ・同学系の学部との交流授業ということで、アクティブラーニングの促進。
- ・欠席届を使う際の基準を明示し、公欠を適切に受けられるようにする。
- ・補講授業になった際にオンデマンド授業を活用し、双方の負担を軽減。
- ・教室の前方だけでなく、後方にもモニターを設置し、講義を見えやすくする。
など、多くの意見を集めました。

【日大教育の未来のビジョン】

- ・欠席や補講の通知をメール1本に限らず、他の媒体などでも周知することで、確実に連絡が行き渡るようにする。
- ・PBL学習といった問題解決型学習の実施。
- ・日本大学のブランド、ネームバリューをこれ以上下げないという意味で、組織の刷新、基盤作りをする。
- ・学内共通の学生交流イベント用ポータルサイトを作る。
- ・キャリアデザインとして国会や研究所などの施設の見学ツアーや全学部対象の一斉授業イベントを開催する。
など、多くの意見を集めました。

これらの学部提案書を基に、各学部において学生・教員・職員の三者で協議し、学修環境の改善を図っていきます！



学部提案書①

学部提案書 (法学部)

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修人数が比較的に少ない授業ではグループワークをやっている <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年や後年が活躍している卒業生の方々と在学生との交流を増やしてほしい <p>構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年次の履修単位に関して下限の制限があるのをなくしてほしい <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目の接続を全てで場所が統一して強くしてほしい。特に地下がほしい ・図書館でキャップ付き飲料水を飲むことを許可してほしい ・学期に特許を数量してほしい ・学内に発信できるツールがほしい 	<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PBL授業の実施 <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJAMi7のような学部間交流を増やしてほしい <p>構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日大ブランドを損ねてはならない ・日大全体の組織内の管理を徹底してほしい <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日大全体に発信できるツールがほしい

令和5年度 日本大学 学生PJ OJAMi7

学部提案書 (文理学部①)

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文理学部内の様々な学科との交流機会を増やす。 <p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手書きレポートを廃止し、オンラインでレポートを提出する形で統一化。 ・教職課程を受講している学生に対しての時間割の配慮。 ・オンデマンド授業の時間割の固定を廃止。 <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自習スペースや図書館の利用時間の延長。 	<p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教科の学生が共通して受けられる授業をつくり、交流を増やす。 ・学科内でのワールドカフェの開催。 <p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BirdやGoogle Document を駆使し、提出方法を統一化するよう、シラバスで明記する。 ・教職課程のカリキュラムと必修授業が被らないようなシステムを作る。 ・オンデマンド授業の時間割を固定化させないことをシラバスに明記する。 <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生課に学生の要望が早く、目安をもちいる。

令和5年度 日本大学 学生PJ OJAMi7

学部提案書 (文理学部②) 1/2ページ

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他の学科と気軽に交流できる機会の提供 →ほかの学科の授業で、その学科の学生と接する機会がほしい ○アクティブラーニングを取り入れた授業の提供 →アクティブラーニングの具体的な方法 →E3回中1回又は、毎回の授業の最後30分は授業のまとめを自身で作り、グループワークを行う ○文理学部の「バーチャルリアリティ」みたいなものがあるとGOOD 「バーチャルリアリティ」の具体的な構想はなし ○自身が学ぶことが得るどうにかせるの小規模にしたい →具体的な方法（自身の学科のOB・OGを呼んで講義会を開く） <p>システム・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出席方法のデジタル化・見える化・統一化（LMSの統一化） ○OB（ブラックボード）に毎回毎回ログインするのではなく、1回ログインしただけでログインできるシステムの提供 ○閉まっている入り口が多いので、開放する入り口を増やしてほしい ○文書の電子資料（朝日新聞クオースター、ヨミダシなどの新聞系）を便利やすくしてほしい 	<p>○「日大ブランド」の強化。学部・学科が多岐にわたって交流できる大学を目指してほしい</p> <p>Q「日大ブランド」とは？</p> <p>多くの学部・多くの学科が存在するため、日本大学に入れば何でも夢を叶える事ができること。</p> <p>部部がなくなる、部制家になる。研究室になれるなどバリエーションの豊かさで「履修の大学」を目指してほしい！！</p> <p>○色んな専門にふれ、刺激を得て自分の夢を具体的に想像することができ、着実に夢へのステップをふめる大学</p> <p>○授業を学生・教員会での垣根を越えて、活発に意見が飛び交う大学（メタバース）</p>

令和5年度 日本大学 学生PJ OJAMi7

学部提案書 (文理学部②) 2/2ページ

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>抽選科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○抽選科目がみな受けられるように、抽選に落ちた人は200%配点を取入れられるようにしてほしい <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○語学検定（ほかの言語（英語、フランス語、ドイツ語など）の検定は単位認定されるのに、中国語のみされない現状を変えてほしい 	<p>○色んな専門にふれ、刺激を得て自分の夢を具体的に想像することができ、着実に夢へのステップをふめる大学</p> <p>○授業を学生・教員会での垣根を越えて、活発に意見が飛び交う大学（メタバース）</p>

令和5年度 日本大学 学生PJ OJAMi7

学部提案書 (文理学部③)

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通称や履修登録を1つのサイトにまとめて欲しい ・コマツ内の情報が多すぎてしまい、使いづらくなってしまっているのを、各学科別に分けて情報を知って欲しい ・体育館やプールなど充実した環境があるにも関わらず、学生が自由に使用することが難しいため、制限を緩和してほしい <p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使われている教室がどうか分かりにくいので、シラバスに各講義で使用する教室・曜日・履修方法が抽選かどうかを明示してほしい ・履修と試験期間がぶらぶらしてしまうことが多いにも関わらず、公欠が取りにくい学科があるため、全学科で統一して対応してほしい <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部で学科・クラスごとのイベントを開催してほしい ・各学科のキャンパス案内を学生主体でできるようにしてほしい ・外国語ラウンジを月に1〜2回に増やしてほしい 	<p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STUを使用することで、他学部の方が来た際でも町名の設定方法で困らないようにしてほしい ・電子学生証を大学全体で欲しい <p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンドで他学部の講義を受講できるようにしてほしい ・レポートの書き方など基本的な知識を身に付けられる機会がほしい ・自主制作などの全学共通科目の講義の内容に合わせて欲しい（また、自主制作の講義内容を大学全体で統一してほしい） <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他学部の講義をもっと受講できるようにしてほしい ○各学部の卒業で学生1人1人が役割を持つことによって、参加人数を増やし、イベントの周知・理解ができる機会を増やしてほしい ○OBキャンパスの各学部の案内を学生主体でできるようにしてほしい

令和5年度 日本大学 学生PJ OJAMi7

学部提案書 (経済学部)

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>授業システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスに公欠の人への対応方法をあらかじめ記載する。 ・授業時間を増やし、授業数を減らし長期休暇を増やす。 ・授業時間を増やすことで、自身の興味関心の見直しにつながるため、単位の取得上限を増やす。 <p>授業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時間を増やすことで学生の質問に対応しやすくなる。 <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの学生と交流できるような交流スペースを増やす。 ・学生が企画するイベントを作ることができるよう環境を整える。 	<p>授業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学本部が主催で、科表のためになり関心があったりする複数の見学ツアーや全学部対象の一斉授業イベントを開催する。 <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部のポータルサイトでは見落としがちなことや学生間士の交流機会の確保のために、学内イベント用のポータルサイトを作る。

令和5年度 日本大学 学生PJ OJAMi7

学部提案書 (商学部)

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容に合った受講方法を学生・教員双方が揃えるようなシステムを希望する。 ・成績基準、成績方法について直接聞ける機会をオフィスアワー以外にも増やしてほしいと希望する。 <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館を自習スペースとして以外にも学生にもっと利用してもらうために本の種類を増やすなどの設備の拡充を希望する。 <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員に質問をする時間が少ないので、オフィスアワー以外にも時間を増やイベントなど対応する機会の増加を希望する。 <p>システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトの機能改善及び発展。例えばチャット機能、固定機能、アプリ化等の拡充を希望する。 	<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大企業として授業内容に合った受講方法を学生・教員双方が揃えるようなシステムを希望する。 ・学部関係なく休講スペースの利用を可能にするシステム ・例えば商学部の人が経済学部の休講スペースを利用できるといったシステムの作成を希望する。 <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学全体で教職員とのコミュニケーションの機会を増やすためにイベントなどの定期開催などを希望する。 ・大学全体で学部間関係なく機能・使用方法が統一されたアプリ・サイトの作成を希望する。

令和5年度 日本大学 学生PJ OJAMi7

学部提案書 (芸術学部)

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携プロジェクトの学生の活動の負担を減らすか、単位数を増やしてほしい ・連携プロジェクトの活動の安全性を見直し、危険などの授業内容については学生に説明してほしい（身の危険を感じるような体験があった） ・連携プロジェクトにおいて、教員の愛護するものを学生が作るという構図にならないよう決まりを設けてほしい ・実技系の他学科公開授業を増やしてほしい ・専門分野の専攻大学への留学など連携を増やしてほしい <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学科の履修などの情報をわかりやすく提供してほしい ・授業中に意見交換ができるシステム（輪）が欲しい <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携プロジェクトでいろいろな学科の機材を活用する内容にしてほしい ・自費日、祝日も授業を聞けてほしい ・「可能であれば」保庫室に市販薬を置いてほしい ・保庫室に行くまでのルートの改善してほしい（今は各種の中を通ることができず迷子になりがち） ・学科別有資格を扱う際の取り決めをしてほしい（→他学科教員が怖いと思うかもしれない） ・その他 ・学生のバラスティ・クオリティを良くしてほしい ・日芸実行委員会と学生の関係構築を図りたい 	<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位数などの単位認定をしてほしい →留学期間において、芸術系の大学と連携してほしい ・留学期間に対する保険を充実してほしい ・交流 ・チャットなど他学部と交流できる活動を広く知らせてほしい <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町名などの連携環境整備において、学部学部の連携をしてほしい

令和5年度 日本大学 学生PJ OJAMi7

学部提案書②



学部提案書（ 国際関係学部・短大（三島）① ）1/2ページ

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>◎交流</p> <p>日大三島高校の生徒と交流することについて ⇒スピーチコンテストの参加資格を高校生に引き下げる ⇒ビジネス・観光系の授業で、高校生と共に行う。</p> <p>◎授業計画</p> <p>出欠確認のやり方の変更⇒QRコードやバーコードリーダーを用いる。</p> <p>◎オンデマンド授業</p> <p>フィードバックの活用（10分～15分） 必修の授業は、オンデマンドの対応を選択できるようにする ⇒内容は新しく決まっているため、やりやうと考える。</p> <p>◎入学式</p> <p>9月入学（留学生限定） ⇒10月入学資格の活用を用いて、入学判断する。</p> <p>◎Wi-Fi</p> <p>「誰でも、いつでも」をモットーにする。スターリンクのようなもの。 ⇒所感としては、移動するたびに回線が落ちる現象をどうにかしてほしい。</p>	<p>◎交流</p> <p>大学のSNSで垣越えする。 ⇒学生自身が発信できるようにする。 ⇒Slackの活用など</p> <p>◎授業評価</p> <p>出欠確認のシステムを全学部で統一する ⇒QRコードやバーコードリーダーの採用</p> <p>◎mini CHAMiITの開催</p> <p>他学部だけでなく、全学部が集合して「うちの学部はこういう学部だよ」という趣旨のイベントにする。 ⇒これを行うことで、CHAMiITでの提案を促進させる効果があると考ええる。</p> <p>各学部の機能やシステムを知らないことにより、合理的な提案ができていないと考ええる。</p> <p>例：国際関係学部では導入されていないが、法学部で導入されていて、明らかに国際関係学部にも導入した方がよいことなど。</p>

令和5年度 日本大学 学生FD CHAMiIT

学部提案書（ 国際関係学部・短大（三島）② ）1/2ページ

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の抽選制度を撤廃する 学生に平等な学びの機会を生かすため 受講者が教員の定員を超えた場合はオンライン授業にする 従来の抽選制度によって学生の学びの機会を奪わないため 教材をGoogle Classroomでデジタル配布する 家庭用教材や鑑賞のある教材の持ち運びが不便であるため 政治・公民の教職課程を創設する 現在の教職課程は英語のみで選択が少いため 国際関係学部の展開する授業には政治・公民に該当する授業が多くなるため 短大が履修できる国際関係学部の科目を履修費でリストアップする 短大が本来履修可能な国際関係学部の科目が分りにくい ため 障害を越えて展開する授業（I, IIのような）は、飛ばして履修できないよう履修条件を厳格化する ⇒飛ばして履修する事情が多発しており、本来は必修科目でありながら基礎から教える必要があるため、授業の進捗が遅れる事態になっているため <p>サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館のコピー機印刷枚数の上限を増やす →従来の上限では足りないとの声が多まっているため 	<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ地域、又は近い地域に位置する学部間で交流の場（ワードカフェのような）を増やす ・全学部が共通で受講できるオンライン授業（毎回講義の学部のおすめ授業を受けられる授業）を導入する <p>サービース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスのバリアフリー化を進める <p>進路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短大から編入できる学部の選択枚を増やす

令和5年度 日本大学 学生FD (CHAMiIT)

学部提案書（ 危機管理学部 ）

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>◎制度</p> <ul style="list-style-type: none"> 「必修モデル」を時間割が編成できるように学校側で作成し、時間割でもらうと同時に学校側が提示を行う。 丁寧な学部要覧の作成。 資格取得への導入になる制度を作成。 <p>◎設備</p> <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fiシステムを強化し、授業等をより受けやすい環境にする →講師・必要以上のWi-Fiへの機器の接続を制限する。 <p>◎授業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「呼びの手引き」「学修の手引き」を作成し、学生が履修登録を行いやすくなる。 	<p>◎制度</p> <ul style="list-style-type: none"> 他学部間で相互履修制度を強化し、他のキャンパスとの交流を強化する。 <p>◎設備</p> <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fiの設備を共通化し他学部との行き来のハードルを下げる ・日本大学の学部間で機器・設備の貸し出しを行う環境を整えるべき。例）スポーツ科学部の汎用プールを文理学部生が使えるように、自習の撮影機材/セット等を危機管理学部の実行委員会が使えるように。 <p>◎授業</p> <ul style="list-style-type: none"> CHAMiITの知名度をあげ、フィードバックの質をあげることで様々な質(授業)をあげることにつながる。

令和5年度 日本大学 学生FD CHAMiIT

学部提案書（ 理工学部① ）

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>資格</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格を前提とした授業 →授業内容でこのような資格がとれと示してやる <p>授業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> →東原に近い授業内容 →資格を持つている人を呼ぶ（学年が早いうちに） →実際に経験した実務を基にした授業 →実務とされている技術を取り入れた授業 →チャットQ&A →セミナーなどの外部との視点 →参加することで単位認定につながる <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> →QAをQに →より多く授業をとる人を評価できる →実務を体験した人による評価 →専門的・内容的による評価 	<p>資格</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格を前提とした授業 ・英語の授業 →TOEICなどの資格取得に重きを置いた授業 <p>授業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい技術に対するルールの統一 →チャットQ&Aなど →外部との視点 →実際に働いている人を呼ぶ →セミナー参加による単位認定 <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人スキルの評価 →実務経験をもとにした評価 →QAをQに

令和5年度 日本大学 学生FD CHAMiIT

学部提案書（ 国際関係学部・短大（三島）① ）2/2ページ

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>◎履修登録</p> <p>授業開始日と履修登録開始日を同じにするのをやめる。 ⇒履修登録開始日3日～1週間ほど早める。</p> <p>◎補講について</p> <p>オンデマンドの形も採用する。 ⇒前期の授業の中には、補講の時間を確保してのた設定して、後期にはオンデマンド動画を配信している教員が多かった。</p> <p>教員の立場からも、補講を組んでやるべきものではないという内情もあるようで、オンデマンドを活用することで、双方メリットが生まれると考える。</p>	<p>各学部の状況が異なっていて、大学全体がより良い方向に導くと考える。</p>

令和5年度 日本大学 学生FD CHAMiIT

学部提案書（ 国際関係学部・短大（三島）② ）2/2ページ

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>・Wi-Fiの強化（学食や上層階、特に自習スペースとして開放している場所）</p> <p>→自習スペースでWi-Fi環境を整っていないければ、自己学習や課題を行う際不便であるため</p> <p>・キャンパス間で無料ピストンバスを導入する（オープンキャンパス時を除く）</p> <p>→1km近く離れているキャンパス間を快適に移動出来るようにするため</p> <p>→最低でも15分という時間のなかでキャンパス間を移動することは学生、教員にとって負担が大きいため</p> <p>・欠席届はデジタル媒体で提出できるようにする（PDF形式でメール送信）</p> <p>→教員によって、紙媒体よりもデジタル媒体の方が管理が簡単であるため</p> <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調の高管理を解除し、25℃以下で使用できるようにする →28℃で高管理されており、それによって学生、教員のなかで夏々体調不良者が発生しているため →教室の広さや受講者の人数によって室内の温度が変化するため、各教室で調整できる環境が必要 	<p>・Wi-Fiの強化（学食や上層階、特に自習スペースとして開放している場所）</p> <p>→自習スペースでWi-Fi環境を整っていないければ、自己学習や課題を行う際不便であるため</p> <p>・キャンパス間で無料ピストンバスを導入する（オープンキャンパス時を除く）</p> <p>→1km近く離れているキャンパス間を快適に移動出来るようにするため</p> <p>→最低でも15分という時間のなかでキャンパス間を移動することは学生、教員にとって負担が大きいため</p> <p>・欠席届はデジタル媒体で提出できるようにする（PDF形式でメール送信）</p> <p>→教員によって、紙媒体よりもデジタル媒体の方が管理が簡単であるため</p> <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調の高管理を解除し、25℃以下で使用できるようにする →28℃で高管理されており、それによって学生、教員のなかで夏々体調不良者が発生しているため →教室の広さや受講者の人数によって室内の温度が変化するため、各教室で調整できる環境が必要

令和5年度 日本大学 学生FD (CHAMiIT)

学部提案書（ スポーツ科学部 ）

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインと対面のハイブリットを増やして欲しい 例）講義はオンライン、演習と実習・実技は対面にする→など ⇒午前と午後で対面とオンラインを分ける ・教員免許などの資格を教養できるようにする。また、トランサーとして実践指導の資格を取り入れて欲しい ⇒教員免許などの資格に準じては、先に該当したハイブリットになるようにオンライン化 <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生との交流を増やして欲しい ⇒スポーツに精通している留学生を招き入れる。そうすることで、外国でのスポーツ知識の習得、リアルな外国語を学ぶことが可能 →海外研修を行うために、研修事業を取り入れて欲しい 例）1～3年次に分けて研修を行う（1回だけでは不可能な学生が多いことなど） <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fiの設備強化 ⇒学部全体にWi-Fiが普及するように強化して欲しい ⇒教室のやり方をもちと学生が分りやすいように見直して欲しい 	<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学部で海外研修のカリキュラムを取り入れ、そのための助産費を削減して欲しい ⇒1回払いではなく、分割払い <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本全体での交流を増やして欲しい ⇒それぞれの専門的なものに対して海外研修を行う →季節間のイベント交流を増やして欲しい ⇒ポスターなどを掲示することで、今まで以上にイベント交流を行って欲しい <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生証に電子マネーや学修履歴の機能をつけ直す ⇒学生の親御さんに対してのもの、1人暮らしの学生や専業主婦の学生へのサポートとして →不出産・結婚のあつては、授業を受けない学生の防止・学修状況の低下防止

令和5年度 日本大学 学生FD CHAMiIT

学部提案書（ 理工学部② ）

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
<p>コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生だけで話し合いが上手くいかなかったため、ファシリテーターがいるワールドカフェを開催する ・授業内でイベントを告知する ・若い視座からゼミ・研修生の紹介をする <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの温度を自由に設定できるようにする →数回台のキャンパス内の図書館にコンセントが欲しい ・船橋キャンパスに電気が通っていない構内があるため、電気を通してほしい →コンセントのワックススペースを設ける <p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2限以降に必修、1限は選択の授業にする →授業・アトのフィードバックがほしい(全体の評価・評価基準・模範解答) 	<p>コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修費を呼んで講演会をする →船橋キャンパスでも、講演会を開催する <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船橋キャンパスで運動部以外でもシャワーを使えるようにする →徹夜で研究ができるように空室部屋に簡易バスを設ける <p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兼任講師のフィードバックの基準を設ける →TAにフィードバックを作成してもらう

令和5年度 日本大学 学生FD CHAMiIT

学部提案書③

学部提案書 (短大(船橋))

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
授業 ・授業内でグループワークを行うなど能動的な授業が欲しい。 課題 ・課題を少なくしてほしい ・課題についていけない学生のために、アーカイブ配信などの対応が欲しい。 交流 ・同じ学科の先輩との交流が欲しい。(お茶会、ボーリング大会など) システム ・図書館において、専門書以外の小説や教本の数を増やしてほしい。 ・種別や教員種員など、持ち運びが簡単な物を置けるロッカーが欲しい。	授業 ・土日に授業は行わず、平日に授業を集中して欲しい。(土日授業の場合、オンデマンドなどの対応) 交流 ・実際に職場を体験する授業を通して、社会人との交流の機会を設ける。 システム ・選択や欠席、電車の遅延などを登録することができるシステムが欲しい。

令和5年度 日本大学 学生FD (船橋)

学部提案書 (生産工学部①)

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
設備 ・コンセントの数が足りず、金銭に付き置かないと事案がある為、既存の建物には延長コードを配置する等の対応をして欲しい。また新設の建物にはコンセントのプラグの数を増やす等の対応をして欲しい。 ・建物敷設型のプリンターについてはコピー機能を使用できるようにして欲しい。また、カラーでの印刷・コピーが円滑にできるように改善して欲しい。 ・スマホからのプリントが出来るように改善して欲しい。 wifi ・wifiの速度を上げて欲しい。 ・wifiが安定して利用できるようにして欲しい。 学び ・他学部の授業を円滑に履修できるようにして欲しい。 ・既に修得した単位をオンデマンドなどで学び直しができるようにして欲しい。 時間割 ・ポータルサイトにおいて必修と選択の区別がくっきりして欲しい。	交流 ・学部、学科間交流ができる場を更に設けて欲しい。 ・日本大学生間士が交流できるコミュニティを作って欲しい。 学び ・他学部の授業を円滑に履修できるようにして欲しい。

令和5年度 日本大学 学生FD (船橋)

学部提案書 (生産工学部②)

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
学び ・ITにすぐ慣れている →ITに慣れている時間の制限 →マニュアルをつくる 毎朝ではなく、レベル別のクラス分けをする。少数人数制で授業をする。 ・昨年度の授業量の回答にもあるが、フィードバックを必ず行う →最低限の調べたべき内容を決める(マニュアル化する) 点数のみではなく、詳しいコメントをする 教員の負担を減らすために →土日は、教員自身の先生を他学部の先生にする。 学生は様々な学びができる →専門の授業では企業の方や他のプロに授業をしてもらう。 空き教室の利用 教員ごと授業での使用時間、授業を奪った教室を入りに掲示する。ポータルサイトに教員使用一覧を載せる。 設備 モニターが一つしかないため、後の方は見えない →前だけでなく、後にもモニターを設置する。	交流 友達を作りたい! チョットかたいな感じ合いではなく、ラフな感じで交流をしたい。 他学部、他学科の科目を卒業単位として必修化する。 →それにあたって、他学科履修を柔軟にする。 →オンライン化 システム ・授業の履修を柔軟に履修できるようにして欲しい。 ・履修の履歴を開くために、先輩との交流する機会を設けてほしい。

令和5年度 日本大学 学生FD (船橋)

学部提案書 (工学部)

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
授業 ・第二外国語の授業を学ぶ環境を作してほしい。 ・対面とオンライン授業の選択をしたい。 →オンデマンド授業を増やしてほしい ・資格、例えば英語(TOEIC)の勉強のサポートをしてほしい ・同じ科目なのに教員ごとに授業内容が異なるので、教材の統一と内容の共有をしてほしい。 ・授業に気軽に質問できるようにしてほしい。 設備 ・クーラーの風量を各教員で設定できるようにしてほしい。 ・カフテリアまたは教室の音楽を適切にできるようにしてほしい。 →自習スペースとして利用するために、適切な曲を流してほしい。 交流 ・Ohamiのようなイベントを工学部でも開催してほしい。 ・就職の相談を開くために、先輩との交流する機会を設けてほしい。 システム ・授業の履修をもっと早くしてほしい。例えば4年生など履修科目が少ない学年は成績の開示を早くしてほしい。	授業 ・学生間で授業を行う。医学だけでなくグループディスカッションなどを授業時間内で行いたい。 →オンラインで他学部の授業を受けられるようにしてほしい。 相互履修制度の活用をしてほしい。 システム ・日本ポイントの導入をしてほしい →例えば、日本ポイントを利用してオープンキャンパスの手伝いをしたら学食が安く食べられるなど。 ・ポータルサイトの機能の充実をしてほしい。

令和5年度 日本大学 学生FD (船橋)

学部提案書 (医学部)

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
設備 ・学部が自由に集まって、学部に関して意見交換できる場所が欲しい。 ・授業や実験室の空調が暖かすぎたり、暑すぎたりしている。修理してほしい。 ・講義や教室のプロジェクトや音響機器が不調で授業が見えづらかったり、聞きづらかったりする。新しく入れ替えてほしい。 ・解剖実習室近くにシャワーが無いので、ホルマリンが拭けない。また解剖実習室の水回りにも不調があり、実習時に安全性に不安がある。 ・パラアンプ化が進んでいないので、足を痛めた時などに、教室への移動がとてもしんどい。(物に本棚) 授業 ・授業の順番などについて、学生がカリキュラム決定に関われるようにしてほしい。 ・授業で研究や学会発表などを勧められたら関連の支援が欲しい。 図書館 ・図書館で読める雑誌(オンラインジャーナル)や本を増やしてほしい。(授業の課題のレポート作成のために最新の論文などを読めるようにしてほしい。)	学生主体のカリキュラム カリキュラムの策定段階から授業実習の順序や内容について学生が意見を述べられる機会を創る。 先進的な教育 ・専門性の高い教育研究や実践した研究実習制度によって、日本一の規模の大学から日本一の研究成果を創出する。学部生や大学院生向けの支援などを強化して、日本出身の世界で活躍する人材を育成していく。 ・クリエーター大 透明性の高い運営とクリーンな設備で快適な学生生活を送ることができる。

令和5年度 日本大学 学生FD (船橋)

学部提案書 (歯学部)

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
設備 ・既存の充電器を高速度充電できるものにする ・講義室の机にコンセントの配線工事をする ・学生服の洗濯機を増やしてほしい ・教員や校舎の開放時間を長くする 授業 ・英語の授業で産科医療に関することを学びたい →英会話や英単語 連絡 ・送付手帳の統一化を図る →特に重要事項の連絡では… 連携 ・購買でお弁当の販売をする →企業との連携 ・他学部の科目を履修できるようにする ・医療系の他学部連携 →先生と交換して授業したり…	設備 ・学部でも科目を使うようにしてほしい 授業 ・英語の授業の難易度を上げる 連絡 ・送付手帳の統一化を図る →特に重要事項の連絡では… 連携 ・購買でお弁当の販売をする →企業との連携 ・他学部の科目を履修できるようにする ・医療系の他学部連携 →先生と交換して授業したり…

令和5年度 日本大学 学生FD (船橋)

学部提案書 (松戸歯学部) 1/2ページ

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
授業 ・授業 オフラインでの授業 →教員がどこにいるかわかり易い化をはかる →教員からの無難な質問が多い →授業実習の負担が平等 学生から教員への授業評価を統一 教員が学生への評価を統一できるように 医療系学部間士の交流が少ない(近隣学部との交流) 科目ごとの質問を統一 1科目1問国家試験問題を、2年生くらいから使う人が増える わかりやすい授業 →国家試験より国家試験問題と類似、カリキュラムもそれに準じたものにする →webclassの国家試験問題を引継いで テストのフィードバックがしっかり出る →講義や実習で課題、模範公開(金科目) →シラバスに課題公開を記載 設備 ・設備 科目ごとの欠席率など、基準を設ける →公欠などが、ちゃんと反映される 個人自習スペースの充実(パーテーションなど仕切り) →低学年の自習スペースを充実	授業 ・授業 教員が学生への評価を統一化(科目によって違うので) 教員からの、授業アンケートやテストのフィードバックが出る グループワーク(学生同士で教え合える場所時間)が増える 設備 ・設備 欠席の基準が、学生や教員にもメール一本に限らず明確に通知される 日本全体の情報が共有されたwifiが使える→どこに行っても日本国内ではwifiが使える 自習スペースが充実(パーテーションや機材を設ける) モチベーション ・モチベーション 社会との職業の関わりを見れるような授業を開講 学生、教員、職員が話し合えるよう、学内での交流会をする、また活動などが掲示板等でも通知。

令和5年度 日本大学 学生FD (船橋)

学部提案書 (松戸歯学部) 2/2ページ

①理想の学部にするための提案	②日大教育の未来のビジョン
火器やタービン制限がないので、実習練習スペースが欲しい →例えば、研究機関などどこでもしっかりと使える 設備は新しくして欲しい →古い設備は新しく。学生の満足度に依存するので、優先度が低い(卒業関係でなかなか難しい) モチベーション ・モチベーション 挨拶をする →教員が先生としっかり見ている意思表示、匿名化を防ぐ 問答会、講義などをより活用化(コロナ以前以上) →卒業生やOBと学生が繋がる場所が増える →限りのつながりが増やす 学生全員で、教員とのモチベーションが高くなる 部活以外に先輩と関わる機会が欲しい 社会との産科の関わりをもっと見える →学生が危機感を持つ →1年生で最後まで残れる人が100%になる できない人に、勉強サポート	設備 ・学部でも科目を使うようにしてほしい 授業 ・英語の授業の難易度を上げる 連絡 ・送付手帳の統一化を図る →特に重要事項の連絡では… 連携 ・購買でお弁当の販売をする →企業との連携 ・他学部の科目を履修できるようにする ・医療系の他学部連携 →先生と交換して授業したり…

令和5年度 日本大学 学生FD (船橋)

学部提案書④

学部提案書 (生物資源科学部①)

①理想の学部にするための提案	②日本教育の未来のビジョン
<p>・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長命館を種や一次の授業に間に合わない ・机・椅子環境を改善させる(2号館、10号館) ・空き教室を確保→学修施設の充実 <p>・コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学がイベントを企画できるようにする ・他学部交流イベントの専用サイトを作る <p>・授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生主体の授業を増やす ・実験授業を増やす(他学科の授業を転用する) ・出席を評価方法に入れる(不平等の是正) 	<p>・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有の方法の改善と一元化 <p>・コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生がイベントを企画できるようにする ・授業していない施設を活用し交流の機会を増やす <p>学生サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学や留得受検費の補助 ・教員と学生の比率を適正な人数にする→サポートの質向上 <p>・授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学部の授業と連携した施設交流を普及させる →授業で有効活用(田植え、釣り、etc) <p>・周知化→パンフレットの作成など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例) 他学部のキャンパスで授業・ボランティアを受講できることを周知 ・教職員の利用が可能であること、どこでも空き教室で学習できること

令和5年度 日本大学 学生FD ChUmiT

学部提案書 (生物資源科学部③)

①理想の学部にするための提案	②日本教育の未来のビジョン
<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学科との交流ができる授業科目を作ってほしい →単位とは関係なく他学部の授業が見られる仕組みを作ってほしい。オンラインでも活用する。 ・学年間お互い質問される。グループワークの授業を設けてほしい。とりたてて授業科目で困難に落ちないようにしてほしい。主に選択科目などで抽選に落とされるなどの例が無いようにおねがいします。 ・新入生に向けて、先輩などを使って、履修登録へのアドバイスができるような仕組みを作ってほしい→履修登録期間の見直し、先輩をアドバイザーに雇う。 <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空機一機が教室ごとにできるようにしてほしい。(暑すぎる、寒すぎる、という意見は講義中に対応できないため)机・椅子→本館九階以上、四号館、七号館などが主につながりにくいため、改善してほしい。 ・十号館が圏外になってしまうので、緊急に対応してほしい。 ・成績の統一化 ・同じ講義なのに教員が分組していることで、教員ごとに、成績の評価方法が異なるため、不平等が生じている点を改善してほしい。 ・成績開示の時期が他学部とも比べて遅いので、八月中旬をめどに成績開示してほしい→他学部はもっと早いのに、なぜ? ・交流、ディスカッションなど、学部主催の行事を増やしてほしい。目安としては、年に五回程度 	<p>他学部交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学部と交流できる科目を作ってほしい ・日本全体の文化祭を作る ・毎年一回、各学部から一学科を推薦し、日本が大きな難関を乗り越えて、そこで他学部交流の場を設ける。→日本のマンモス校の良さを引き出すイベントになる。 <p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークにおいて、グループ間の能力差で評価に影響が出ないようにしてほしい

令和5年度 日本大学 学生FD ChUmiT

学部提案書 (薬学部)

①理想の学部にするための提案	②日本教育の未来のビジョン
<p>授業(オンライン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アーカイブを残す <p>授業(対面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニングの導入(仲年度、対応中) <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体と学部が協力できるような授業を作る ・医療系の学部が交流できるスペース、サークルを作る <p>テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト解答期間が終わったあとに、スキャン対策に点数開示やフィードバックを行う ・成績の点数開示を徹底する <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き教室を解放して学習スペースにする 	<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のオンライン授業の利点を活かし、授業のハイブリッド化を行う ・1科目のうちから様々な職種について理解を深めるため、課外授業を増やす <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワールドカフェを1年次から4年次まで継続して実施する(他学部交流の継続を増加させる) <p>テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスに記載する成績評価基準を統一する <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WiFi設備を整える ・モバイルバッテリースペースの設置(金学部で)

令和5年度 日本大学 学生FD ChUmiT

学部提案書 (生物資源科学部②)

①理想の学部にするための提案	②日本教育の未来のビジョン
<p>設備・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所によって温度差があるので、各教室で空調の調節をできるようにしてほしい。 机・椅子 ・机・椅子のからがあるのので、教職員などからポケット机・椅子を貸出してほしい。 <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期間の交流機会が少ないので、学期間の研究意見交換会を開催してほしい。 ・同名授業でも先生ごとに評価方法が違うので、授業評価の基準を作してほしい。 ・履修登録に不安がある学生が多いので、相談コーナーをつくる <p>キャンパス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由に教室を使えるようにするために、教職員に申請したら使えるようにしてほしい。 ・キャンパスが広いので、案内板をわかりやすくしてほしい。 ・現在地の表記・地図に矢印など 	<p>設備・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境の見直しとして、定期的に最適な温度・湿度を測定してほしい。 机・椅子 ・面積削減のため、ポケット机・椅子の設置をしてほしい。 □がスターマークなど <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期間の交流機会が少ないので、学期間の研究意見交換会を開催してほしい。 □がスターマークなど <p>履修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修登録について十分な説明とシステム強化をしてほしい。 ・キャンパス ・キャンパスが広い学部もあるので、キャンパス周辺で巡回バスの運行をしてほしい。

令和5年度 日本大学 学生FD ChUmiT

学部提案書 (生物資源科学部④)

①理想の学部にするための提案	②日本教育の未来のビジョン
<p>受けたい科目を見られるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料が揃えられるように欲しい。 ・履修の期間上、受講したい科目と受講したい教科をズラキョウして欲しい。 ・受講したい科目を受けることができないのが現状。卒業年度の履修の難易度を統一して欲しい。 <p>答案用紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのまま返却して欲しい。 ・授業のフィードバックをして欲しい。 ・各分科テスト時の回答内容を見直ししながらしっかりと返却して学びの向上に努めて欲しい。 <p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21時までキャンパスが閉まるのを早くして欲しい。 ・勉強や研究がしたいのに、時間が足りないのを伸ばして欲しい。 ・設備に関する時間を長くして欲しい。 ・1時間延長して欲しい。 ・エレベーターの間にエレベーターで4階まで行く人も認めてほしい。その分の利用もできてしまう。列の改善をして欲しい。 <p>外国語研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生が多いが交流機会が少ないので、日本人学生と交流する機会を増やして欲しい。 ・図書館の空きスペースを1部屋分ランニングコンモンスにしたい。 	<p>サークル補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全く補助金が無い、サークルがある。 ・サークルの会費が自腹になっているので大学として出して欲しい。 ・補助金を出して欲しい。

令和5年度 日本大学 学生FD ChUmiT

学部提案書 (通信教育部)

①理想の学部にするための提案	②日本教育の未来のビジョン
<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開講されない科目がある ・オンラインの科目を増やす ・ハイブリッド授業の実現 ・外連係科目の検定試験の単位認定 ・履修スケジュールの公開を早める ・地方大学との連携 ・科目目録試験の全面統一開催 <p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体が教で良いのでフィードバックをして欲しい ・試験形式を作る ・素点の公開 <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面セッションの開催 ・単対別交流会の開催(協力が違う) ・グループワークセッションを増やす 	<p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互履修に通信教育部も入れる ・他学部の科目を載れるようにする <p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の評価基準を設ける <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流イベントを増やす ・構内バスを作成して交流できる機会を増やす

令和5年度 日本大学 学生FD ChUmiT